

2023 桑島ゼミの取り組み FINALE

桑島ゼミのフィールドワークは、現四年生の卒業を持って終了となります。私たちは、今までの総まとめとして、金沢への視察と卒業論文の制作を行いました。

金沢への視察

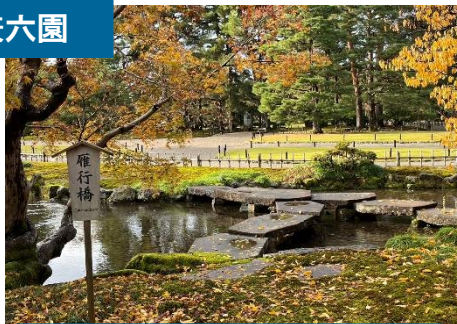
桑島ゼミでは、「アートによる地域活性化」をテーマに、2年生～3年生では西宮ライブスポットで実態を調査しました。4年生ではその総まとめとして「美術・工芸」「食文化」「建築」などのアート資産を生かした町おこしに成功している金沢を視察することにしました。

金沢 21 世紀美術館



県外や海外から来る人も多く、賑わっており、21世紀美術館の目的である「新しい文化の創造」と「新たな街の賑わいの創出」が具現化されているように感じました。

兼六園



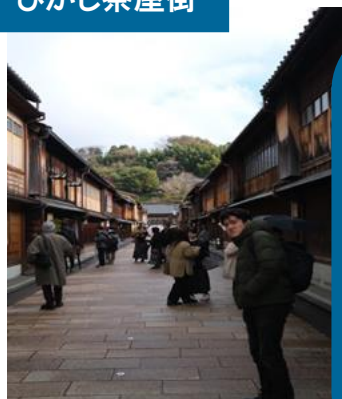
日本三大庭園の一つである兼六園、実は石川県民は土日無料です。芸術文化と県民の距離が近いので、県民の満足度は高いのではないかと感じました。

金沢城



金沢城は、細部に徹底したこだわりを持ち、一点豪華主義の天守をはるかに上回る美しさを誇ります。私たちは城を中心とした景観の形成を観察しました。

ひがし茶屋街



重要伝説的建築保存区域として、かつて茶屋街としてにぎわっていた街並みが保存されています。観光客向けの店が立ち並び、豊臣秀吉の時代から続く伝統工芸品の金箔を用いたお店が多くみられました。

近江市場



この市場では、地元で獲れる魚介類・野菜類を販売する店が連ね、一年を通して、観光客でにぎわっています。観光も地域活性化の重要な要素であると考え、地元ならではの物産展の存在は欠かせません。

金沢市は、芸術文化や伝統文化が自然に溶け込んでおり、他県に比べて、芸術文化と県民の距離がとてと近いと感じました。それは、金沢の伝統文化を上手にリノベーションして現代社会にフィットさせているところが随所に垣間見えたからです。今回のフィールドワークでは、金沢市が伝統文化とまちづくりを切り離さず、上手に活用しているということ学びました。